

平成26年 春の叙勲として旭日双光章を受章

平成26年春の叙勲受章者として、本村元議長の比嘉豊林氏が旭日双光章を平成26年5月7日に沖縄県知事公舎に於いて受章が伝達され、また、5月14日に皇居内で行われた拝謁に参加されました。

比嘉豊林氏は、昭和53年9月恩納村議会議員に初当選して以来、平成10年9月まで、5期20年の長期にわたり在職し、その間議会活動に専念した。昭和59年9月から平成2年9月までの2期6年間、村議会副議長の要職に就任し、議長を補佐し、議会運営の改善、活性化を図るとともに村内産業の振興及び教育、文化、福祉の向上に取り組んだ。平成8年6月から平成10年9月までの1期2年間、村議会議長として、議会の立場から積極的に諸施策の遂行に尽力するなど、本村の地方自治の発展に多大な貢献をしました。

また、村PTA連合会会長、村農業委員会委員や村サトウキビ生産組合長、村文化協会会長等、数多くの要職を歴任し、地域の教育、産業、文化の向上に卓越した手腕を発揮しました。



「平成26年春の叙勲として
旭日双光章を受章した比嘉豊林氏」

※旭日双光章・・・日本の勲章の一つで旭日章6つのなかで、5番目に位置する。

7月に襲来した、大型で非常に強い台風8号は、恩納村にも村道の決壊や土砂崩れ、農作物への被害など多大な損害を与えました。その後の、村当局の懸命な復旧措置・作業や村民個々人の努力もあって、復旧も進んでおりますが、引き続き台風等の災害対策には万全の注意を払って行きたいものです。

編集後記

7月に襲来した、大型で非常に強い台風8号は、恩納村にも村道の決壊や土砂崩れ、農作物への被害など多大な損害を与えました。その後の、村当局の懸命な復旧措置・作業や村民個々人の努力もあって、復旧も進んでおりますが、引き続き台風等の災害対策には万全の注意を払って行きたいものです。



編集作業状況

記事担当 又吉 薫

吉山盛次郎 議員



全国学力テスト学校 別成績結果の結果公表について

恩納村は検討中ということでした。対応を伺いたい。

答 教育長 石川哲夫

村としては、学校ごとの正当率とかの公表はしないと決定致しました。

質 公表しない根拠を伺います。

答 教育長 石川哲夫

公表すると序列化に繋がる。正当率のみが、ひとり歩きをしてしまう。小規模校の場合は個人が特定される可能性がある。

質 先生方が恩納村の子ども達は素直でいい子が多いとしかし、自分の道をしっかり述べる子どもがなかなかいない。競争する力が必要かと思いますが、教育的な何かやろうと思っっているのか伺いたい。

答 教育長 石川哲夫

山田校はICTを活用した授業は活性化してきてます。他の地域にも目を向けてグローバル的な人材育成していく必要がある。恩納校における英語

学校と地域社会との 関わりについて

を中心とした教育特例校、全て学校に研究指定の準備し、特色ある教育活動を展開をさせてます。

質 学校評議員制度について教育委員会の意図するものは何ですか。それが学校経営にどういうふうに生かされるか。

答 学校教育課長 石川司

学校が保護者、地域の住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって児童生徒の健やかな成長を図っていくことですが、学校間の格差が見える。開かれた学校という意味で学校評議員制度を活用していきたい。

真栄田岬に係る安全 対策に対する危機管理 について

質 所管事務調査、百条委員会の調査に於いて、現場の安全対策で会社の方と危機管理意識と認

識に温度差がある。管理している株式会社まえたは出来る限り方策は立てなきゃいけない。指定管理者としてどういう方向性をもって指導していくのか伺いたい。

答 商工観光課長 長浜保治

協定書、第22条により運営協議会を設置しております。業務を引き続き、円滑に実施する為情報交換、業務調整に努めていきたい。

質 漁業組合、ダイビングショップそして真栄田岬との組織を立ち上げて円滑に運用できるようにというように伺ったが詳しく教えて頂けますか。

答 村長 志喜屋文康

組織ではなく、ダイバーにとって安全であり生産者である組合が生産の場として安全に活用できる施設を造っていきたいということ今検討しているところがあります。